

2014(平成26)年度下半期事業のご報告

関西・大阪21世紀協会は、「交流と助成」「伝統と創造」「発掘と発信」の3つを事業の柱としています。そのなかで平成26年10月～27年3月の間に協会が主催した事業などをご報告します。

交流と助成

日本万国博覧会記念基金事業やアーツサポート関西事業に加え、関西・大阪を拠点に活動するアーティストに発表の場を提供し、さらなる支援・育成の輪を広げます。

ヤノベケンジ氏を審査員に迎えて実施

アートストリーム2014

2014年11月14～16日／大丸心齋橋店

主催：アートストリーム実行委員会

(大阪府、大阪市、大阪芸術大学、関西・大阪21世紀協会)

関西を拠点に活動するアーティストに発表とビジネスマッチングの場を提供する目的で開催され、今年度で14回目。一般公募で選ばれた80名のアーティストが、絵画やオブジェなどの作品の展示・即売を行い、3日間で延べ約3000人の来場者で賑わいました。とくに今回は会場を拡張し、スケールの大きい作品や立体作品が目玉されました。

また、絹谷幸二氏(大阪芸術大学教授・文化功労者)や蓑豊氏(兵庫県立美術館館長)、ヤノベケンジ氏(現代美術家)らの審査で、出展作品のなかからグランプリ他各賞を贈呈しました。なかでも出展者に注目されているのが、2011年に新設された「企業・ギャラリー賞」。副賞として企業の特色を生かした仕事のオファーや、個展の開催権などが授与されます。今年度からは毎日放送の番組の美術セットのデザインや、画材のカワチより、ギャラリー、Webでの展示、巡回展開催権など、新しい企業賞も増え、アーティストにとっては、実績と実益の両方が得られると好評です。

今年度はグランプリ(賞金30万円)が島香澄さん(日本画)に贈られたほか、審査員賞(賞金5万円)5名、企業・ギャラリー賞(18社)がタンザニア出身のマイケル・レヘムさん(関西・大阪21世紀協会賞)ほか14名に贈られました。また、来場者のアンケートでもっとも人気の高いアーティストに贈られる「オーディエンス賞」には、細密な切り絵を制作した下村優介さんが選ばれました。



島香澄さん(展示ブースにて)

「一人の人間のなかにも無数の世界観があることを表現しています。これを機会に個展をさせてくれるギャラリーさんと出会いたい」



マイケル・レヘムさんと作品「ティンガティンガアート」

「故郷タンザニアの自然の美しさを伝えたい。ミラノ国際博覧会(2015年)のタンザニア政府館にも出展予定です」

声楽のたのしみ ～内藤里美 ソプラノの世界～

アート・アSEMBリー

2015年2月20日／クラブ関西

主催：関西・大阪21世紀協会

関西・大阪を拠点に活躍する優れたアーティストのコンサートを鑑賞、直接交流いただく試みとして、今回で5回目を迎えました。今回は、昨年10月4日開催の水上オペラ「大阪城ガラ・ナイト」で好評を得た内藤里美さん(ソプラノ)が出演。松本薫平さん(テノール)の曲目解説で、「宵待草(多忠亮)」「献呈(R. シュトラウス)」「我が母に教えたまいし歌(A. ドボルジャーク)」や、松本さんとのデュエットでカルメンの「手紙の二重奏(G. ビゼー)」「祈り(D. フォスター)」などが披露されました。テーマは「愛」。日本語、ドイツ語、イタリア語、チェコ語、フランス語、英語でさまざまな「愛」が歌われ、約70人の参加者が上質な声楽の世界に魅了されました。ピアノ演奏は、国内外で数々の受賞歴を持つ小柳みさん(関西二期会所属)。公演終了後は、出演者を囲んで交流会が開催されました。



内藤里美さん(右)、松本薫平さん(中央)、小柳みさん(左)



会場風景

2014(平成26)年度 大阪文化祭賞

(P14 でご報告しています)

伝統と創造

大阪城・上町台地エリアを中心に、地域の歴史的資産を活かすことで、創造的な都市文化の魅力を発信。あわせて上方芸能文化の振興・発展を図ります。

ハイレベルな高校吹奏楽の競演

Brass Boot Up! (ブラス・ブーツ・アップ)

2014年10月4日／大阪城公園駅前広場
主催：関西・大阪21世紀協会、大阪城サマーフェスティバル実行委員会
大阪の高校吹奏楽部員による吹奏楽やダンスの競演。箕面自由学園高校、四條畷学園高校、東海大学付属仰星高校、大阪市立扇町総合高校の4校・総勢450人が出演しました。演目には「アナと雪の女王」や「行くぜっ！怪盗少女（ももいろクローバーZ）」など最近流行のナンバーも取り入れ、華麗で迫力のあるマーチング演奏に約4500人の観覧者が聴き入りました。

また、2012年（大阪城西の丸庭園）、2013年（八軒家浜～道頓堀）に引き続き、今回も関西フィルハーモニー首席指揮者の藤岡幸夫氏を音楽監修と指揮に迎えて開催。藤岡氏は、「ここへ来るたび、高校生たちの熱いエネルギーをもらって元気が出る」と語りました。

大阪の高校吹奏楽は全国トップクラスの実力で、2007年までは「御堂筋パレード」が一般市民に向けた発表の機会となっていました。それがなくなった現在、舞台は大阪城へ。主催者の関西・大阪21世紀協会の堀井良殿理事長は、「高校吹奏楽のハイレベルな演奏を市民の皆さんに知っていただきたい、生徒たちもここでの演奏をいい思い出にしてほしい。そして皆と一緒に楽しむことは、まちの活性化にとっても大事」と呼びかけました。これからも、協会はこうした活動をオール大阪で推進できるよう働きかけていきます。



東海大学付属仰星高校吹奏楽部（枚方市）の演奏

親子で体験する講座が好評

インターナショナル ワークショップフェスティバル「DOORS 8th」

2014年8月8～12日／大阪市立芸術創造館、旭区民センター
主催：IWF実行委員会（LLPアートサポート、関西・大阪21世紀協会）

1講座（90分）・ワンコイン（500円）という手軽さが人気を呼び、今回で8年目。今年は「おとなも子どもも」をテーマに、未就学児が受講できる講座も多数開講したことで、親子連れや孫との参加など例年以上に賑わいました。なかでもNHK Eテレの「オフロスキー」でおなじみの小林顕作さんが講師の「絵本ワークショップ」が人気を集めました。さらに、当日参加で楽しめる無料ワークショップ「マジックワークショップ（橋本昌也講師）」をはじめ、絵本制作、楽器演奏、演劇、朗読、ヨガ、講談、能、バレエなど、全99講座が実施され、延べ1436名の参加者が「一度やってみたかった」を実現しました。参加者の男女比は8対2で女性の方が多く、半数が一人での参加。子どもと一緒に楽しむワークショップの数を増やしたことで、アンケート回収の感想量も例年の6倍に増えました。



榎原孝之さんによるシタールの演奏体験



小林顕作さんによる絵本ワークショップ
（写真提供：IWF実行委員会）

大阪城公園で2万人の“光る”ランニング

ELECTRIC RUN (エレクトリックラン)

2014年11月7・8日／大阪城公園
主催：関西・大阪21世紀協会、株式会社ユニバーサル スポーツ マーケティング
大阪城フェスティバルのラストを飾る市民参加イベント。「RUN FOR FUN」をコンセプトに、思い思いの光るグッズを身につけた参加ランナーが、夜の大阪城公園内に設けた約5kmのコースを駆け抜け、日常から離れた雰囲気を楽しみました。株式会社ユニバーサル スポーツ マーケティング（東京）と、関西・大阪21世紀協会が共催しました。

告知には一切の広報印刷物を制作せず、ツイッター、フェイスブックなどのSNSだけの呼びかけで、2日間で2万1000人を集客しました。参加者にはオリジナルTシャツや光るリストバンドなどの特典が付き、多くの仲間と体験を共有できるとあって多くの若者たちで賑わいました。2015年は11月7日（土）、8日（日）に開催予定です。



（写真提供：（株）ユニバーサル スポーツ マーケティング）

水上オペラ「大阪城ガラ・ナイト」

（P11でご報告しています）

発掘と発信

大阪の歴史的資産や伝統行事の発掘や研究を深めるとともに、広く有識者を交えて関西・大阪が果たすべき文化の諸問題を探り、その成果を発信します。

歴史と文化の宝庫・堺市を訪ねる

南大阪・上町台地フォーラム

2014年9月13日(第2回)、11月24日(第3回)

主催：関西・大阪21世紀協会

フィールドワークによって大阪・上町台地の歴史や大阪のアイデンティティを探る企画。今年度は中世日本の最大の玄関口であった堺市を3回にわたって訪れました(第1回(4月4日)は前号で既報)。

第2回は堺の産業に焦点を絞り、日本ではじめてヒマラヤを越えた僧侶・河口慧海が学んだ寺子屋「清学院」をはじめ、明治時代から続く線香店「薫主堂」や水野鍛錬所(鍛冶工房)、山口家住宅(堺市立町家歴史館)、伝統産業会館などを訪れました。第3回は納屋(呂床)助左衛門の居宅を移したとされる大安寺や重要文化財の仏殿(天井に八方睨みの龍)がある南宗寺、南蛮貿易時代にシャム(タイ)から持ち帰られた降魔釈迦銅像(初公開)のある發光院などを見学しました。



水野鍛錬所にて(第2回)



大阪湾の出入り口を守る「開口(あくち)神社」にて(第3回)

交流サロン 21cafe

2012年ロンドン五輪開催における文化プログラム——そのビジョンと成果

湯浅真奈美氏(ブリティッシュ・カウンシル アーツ部長)

2014年8月25日/中之島プラザ

ロンドン五輪(2012年)の開催にあたって、英国でどのような文化プログラムが実施されたかを、映像や写真、データなどを示して解説。五輪招致決定(2005年)と同時に文化プログラムの検討に着手したことや、「Inspire a Generation」「国民全員が五輪に参加しよう」というスローガンを掲げ、次代を担う若者に大きなインスピレーションとスポーツイベントへの参加を促す取り組みが紹介されました。また、五輪の文化イベントでは「Legacy(遺産)」というキーワードのもと、五輪後に何を残すのが重視されたことや、2020年の東京五輪においても、文化プログラムを推進する人の育成や、それによるさまざまな人々との関係性の構築が必要だと指摘しました。



湯浅真奈美氏

社会を変えるアートのパワー

ヤノベケンジ氏(現代美術作家)

2015年1月26日/中之島プラザ

水都再生のシンボルイベント「水都大阪2009(2009年8~9月)」で、巨大な龍のロボット「ラッキードラゴン」を大川で航行させるなど、大掛かりな作品で知られるヤノベケンジ氏を迎えて実施。ヤノベ氏は、2013年開催の瀬戸内国際芸術祭で、タレントのビートたけし氏とのコラボレーションで小豆島坂手地区に巨大な「水神」を展示し、それが島民の好評を得て「美井戸(ビート)神社」という地域の守り神として常設された話を紹介。また、チェルノブイリ原発事故が発端で制作した「サンチャイルド」を東日本大震災後の福島県で展示して人々を元気づけたこと、水都大阪2009の「ラッキードラゴン」が橋下大阪府知事(当時)をはじめ多くの市民を驚かせたことなど、アートが人々の心を動かし、社会を変える力になる可能性を自身の体験をもとに紹介しました。



ヤノベケンジ氏

江戸時代発祥の華やかな伝統行事

今宮戎神社宝恵駕行列への助成・協力

2015年1月10日／大阪ミナミ

関西・大阪21世紀協会 上方文化芸能運営委員会

今宮戎神社十日戎の奉納行事として、江戸時代からの伝統をもつ宝恵駕(ほえかご)行列。明治以降は花街の誘客手段となり、現在は経済界や地元商店会などの協力により、大阪の新春を彩る恒例行事となっています。

今年は芸妓代表の佳世子さんを先頭に、文楽人形遣いの桐竹勘十郎さん、歌舞伎俳優の中村鴈治郎さん、日本舞踊山村流宗家の山村友五郎さん、OSK日本歌劇団トップスターの高世麻央さん、芸能生活50周年を迎えた坂田利夫さん、NHK連続テレビ小説「マッサン」に出演中のシャーロット・ケイト・フォックスさんらが宝恵駕に乗り、「ほえかご、ほえかご」のかけ声とともに、道頓堀から今宮戎神社までの道のりを約2時間かけて練り歩きました。協会の上方文化芸能運営委員会は、宝恵駕行列を主催する宝恵駕振興会実行委員会の役員を務め、その実施運営に携わっています。



佳世子さん(今宮戎神社にて)

無病息災・商売繁盛を祈願

堂島薬師堂節分お水汲み祭り

2015年2月3日／堂島薬師堂および周辺

主催：堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会

奈良・薬師寺の僧侶が祈祷したお香水(こうずい)を竹筒護符に汲み、無病息災や商売繁盛を祈願する早春行事で、今年12回目。堂島薬師堂(大阪市北区)で奈良薬師寺の山田法胤(ほういん)管主による節分法要と「お水汲み」の儀式が行われ、隣接する堂島アバンザ会場で薬師寺僧侶による「声明(しょうみょう)」が披露されました。同会場では、参列者に代わって、文楽人形遣いの桐竹勘十郎さんが「曾根崎心中」のお初人形を遣い、山田管主から竹筒護符にお香水を受けました。さらに、北新地芸妓衆による奉納舞や北新地ホステスらによる「お化け(仮装)」なども行われ、多くの人が北新地ならではの華やかな祭事を見物しました。その後行なわれた「龍の巡行」では、桐竹勘十郎さんとお初人形をはじめ総勢150名におよぶ大行列が、夕暮れの北新地本通を練り歩きました。当協会の堀井良股理事長は、この行事の共同実行委員長を務めています。



山田法胤管主からお香水を受ける
桐竹勘十郎さんとお初人形(堂島アバンザ会場)

伝統芸能「神楽」を楽しむ

日本の文化に親しむ「花の賑わい」

2015年3月3日／国立文楽劇場

主催：関西・大阪21世紀協会 上方文化芸能運営委員会

日本の伝統芸能を身近に楽しんでいただく企画。今回は、伝統芸能番組を数多く手がけてきた葛西聖司氏(元NHKアナウンサー)の案内で、野口さやかさん(関西雅楽松風会)による女性的な美しさで知られる浪速神楽「花湯」と、石見神楽久々茂保存会による絢爛な衣装と男性的な勇壮さが特徴の「大蛇」を楽しみました。また、歌舞伎界より市川猿之助さんによる舞踊・清元「流星」では、七夕の晩に年に一度の逢瀬を楽しんだ牽牛と織姫や、雷の夫婦喧嘩など、一人四役を踊り分ける洒落な舞で観客を魅了。さらに京都宮川町芸妓・舞妓による舞踊・長唄「太秦詣」や上方舞・手打詩「梅の小袖」も披露され、観客は多彩な趣向と華麗な踊りを間近で楽しみました。



野口さやかさんによる浪速神楽「花湯」
(photo© 越田悟全)

山岸晃氏(近畿財務局)が関西の経済動向を講演

賛助会員様事業報告・講演会・交流会

2015年1月19日/クラブ関西

主催：関西・大阪21世紀協会

当協会の賛助会員様に向け、2014(平成26)年度の事業報告を行うとともに、財務省近畿財務局総務部長の山岸晃氏を迎え、「新年にあたって、日本と関西の経済動向等について」をテーマに講演を行いました。

冒頭、堀井良殷理事長は、「安倍政権のもと地方創生が重視されるなか、地方の伝統や文化を経済発展に活かすことが重要課題となっている。もとより当協会は、設立以来、文化の力で地域を活性化させる活動を続け、一定の成果を出しつつある」と述べ、佐々木洋三専務理事が平成26年度の協会事業を1時間にわたり詳しく報告しました。

また、講演会で山岸氏は、「アベノミクス効果を確認なものとするため、生活者・事業者支援、エネルギーコスト対策、地方の活性化、災害・危機等への対応を主軸とする『地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策』に2014年度補正予算がついた。これは2015年度に向けた息の長い取り組みである」とし、「地方創生は、ものづくり企業が集積し、アジアとの関係が強く、長い歴史と文化を誇る関西・大阪の頑張りにかかっている。近畿財務局もできる限り応援したい」と力を込めました。

講演後の交流会では、会員企業の方々と共に、和やかな雰囲気の中情報交換が行われました。



山岸晃氏



実施風景

上方伝統芸能の慶事

**中村翫雀さんが
四代目中村鴈治郎を襲名**

歌舞伎俳優・中村翫雀さんの四代目中村鴈治郎襲名を祝し、昨年11月27日、関西各界のリーダー48名が発起人となって襲名披露パーティーが開催されました。会場のリーガロイヤルホテル(大阪)には、翫雀さんご夫婦と扇雀さん、壱太郎さん、虎之介さん、ご両親の坂田藤十郎さん、扇千景さん、中村玉緒さん(坂田藤十郎さんの妹)と、ファミリーが勢揃い。翫雀さんはお祝いに駆けつけた約800人を前に、「鴈治郎の名跡を継ぐと同時に、上方歌舞伎、大阪文化の隆盛につながっていけば、これほど嬉しいことはない」と謝辞を述べました。その後、京都五花街の舞妓たちの祝舞で盛り上げ、同会の代表発起人の一人である熊谷信昭関西・大阪21世紀協会会長らによる鏡開きで乾杯が行われました。



会場風景

四代目
中村鴈治郎さん4月に吉田玉男を襲名する吉田玉女さん
(写真提供：国立文楽劇場)

吉田玉女さんが二代目吉田玉男を襲名

文楽人形遣いの吉田玉女さんが、今年4月に師匠の故吉田玉男さん(人間国宝)の二代目を襲名することとなりました。

玉女さんは1968(昭和43)年に初代吉田玉男さんに入門。翌年、師匠から早く男になるようにと「玉女」の名をもらい、初舞台に立ちました。以来47年、関西芸術大賞ゴールデン賞(1993年)、国立劇場文楽賞文楽大賞(2013年)、日本芸術院賞(2014年)など、受賞歴も多数。昨年は、アーツサポート関西の助成第1号となった学生対象の「ワンコイン文楽」のセミナーでも講師を務めました。

今年1月27日、関西・大阪21世紀協会(アーツサポート関西事務局)へ挨拶に訪れた玉女さんは、「今後も基本に忠実という師匠の言葉を忘れず、偉大な師匠の芸の高みに向かって精進したい」と決意を示しました。襲名披露は、国立文楽劇場(大阪)の4月公演(4月4日~26日)にて行われます。